

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ディグ・スマイル・前橋西教室		公表日		2024年09月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	利用数が多い時には外出する班と残る班に分かれて行動し、屋内の人数の調整を行っています。各部屋で人数設定を行い、スペースの確保を心がけています。	お子様の部屋割りを行い、正しい行動で部屋の過ごし方が出来るように支援していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	他教室と職員の調整を行い、必要な人数は担保できるようにしています。	十分な時もありますが、緊急時など人手が足りない場合があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	スロープと手すりを設置しており、車椅子のお子様への対応は出来ています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	活動終了後に清掃を行っています。	汚れがある箇所や、経年劣化で修理が必要な箇所があります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	お子様が不穏になった際のクールダウンとしてそれぞれの個室を使っています。	一度に数か所使う場面では、確保が難しいです。その際の職員の動き方や連携に課題があると思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	朝会等でお子様に対しての支援を共有し、活動終了後に振り返りは行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		事業所評価表を元に会議を行い職員で把握できるようにしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	朝会等で共通認識を持てるようにしています。	定期的に会議を行い、その中で職員が意見が言えるように環境を整える必要があります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	親会社の社内研修などが定期的に行われています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	全教室で共通の心理プログラムを実施していますが、教室毎に利用している児童に合わせて変更する事もあります。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		児発管が6カ月以内に必ず個別支援計画更新を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	個別支援計画検討会にて指導員とも考案しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	検討会や日々の話し合いで行っています。	共有不足があるときがある為、共有ツールの再確認を行っていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		話し合いの場を設け認識のすり合わせをしています。	細かな(具体性のある)評価軸がないように感じる	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		全職員が把握している状態ではないと思う。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	複数人で心理プログラムの内容を確認しています。	個人任せになっていて、チームで行動が出来ないときがあります。またイベント立案が同じ職員になってしまうことがあります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		全体プログラムではなく当教室のお子様に向う内容を考えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		心理プログラムで集団支援、日々のやり取りの中で個別支援を計画しています。	個別支援の仕組みや声掛け、促し等支援力の足りない部分があります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	日によって職員が個別に対応する児童を割り振りを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	送迎終了後の時間を使い情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		活動後に個別の記録を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6か月以内に行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		地域活動がやや弱めではありますが、プログラムも試行錯誤して多種多様な物を企画しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		外出先をどこに行きたいのか児童様に選んでもらっています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児発管及びその児童様をよく知っている職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		医療との連携はあまり取れていません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		週ごとの下校時間など連携を取っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		園との連携はあまり取れていません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3		移行の情報先や今後の流れ等まだ把握が出来ていません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		連携を取る機会があまりありません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		交流会の機会はとれていない為、随時検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		参加する機会が取れていません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7			送迎時のお話のみだと時間が足らず、詳しい情報共有が出来ていないお子様がいらっしゃいます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		機会が設けられていない為、同じ会社で取り組みされている家族支援プログラムの参加を促します。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	児発管がアセスメントを行っています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		児発管が個別支援計画更新時に説明を行っています。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者様からご相談があればその場で傾聴し、教室で出来る事をお話しています。	職員の中で、相談やお悩みに対して回答できる幅が少ないです。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5			保護者会を開催したことがありません。保護者様からのご希望があれば開催していきたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		複数の職員で対応を行っています。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		紙媒体ではありませんが、毎月保護者向け相談支援事業所向けの通信を配布しています。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		適宜ファイリング・保管を行っています。		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		補聴器を使用している児童様もいるため、物事の説明の際に視覚的支援も併せて行っています。	保護者様からいただいた情報の共有不足があり、苦情に繋がったケースがありました。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	2	5			現状、地域への対応は行っていません。
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを策定し職員に周知しつつでも確認できるようファイリングをしています。	訓練事項を保護者様に発信できる機会がありません。
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCP委員会を設置し、会議を行い、定期的に避難訓練も行っています。		
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7				
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	アレルギーがある場合は保護者様と密に連絡を取り合っています。また、アレルギーに関する書類をご利用のお子様全員に記載してもらっています。		
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		月に一度、お子様も交えて避難訓練を行っています。		
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1			周知しきれていない面があります。
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事故報告・ヒヤリハットが発生した際は全職員に周知しています。		
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会を設置しています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束委員会を設置しています。			